



特定健診・各種がん検診のご案内



医療機関で実施する特定健診

■対象者

年度内に40歳以上となる国民健康保険被保険者および後期高齢者医療被保険者、生活保護受給者

■実施期間

7月1日(木)～8月31日(火)

■実施場所

町内指定医療機関

■健診内容

問診、身体測定、血圧、診察、血液検査、尿検査など

■申込方法

3月にすでに申し込んでいる人には、6月中旬に問診票を郵送しています。
まだ申し込んでいない人で、健診を希望する人はお問い合わせください。

菊陽町がん複合検診

次のとおり健診(検診)を予定しています。対象者には、7月上旬に申込書を郵送しますので送付された内容を確認のうえ、お申し込みください。

希望者で申込書が届かなかった人は、お問い合わせください。

■実施期間 9月下旬～10月上旬予定

検診項目	対象者
肺がん検診	40歳以上
胃がん検診	
大腸がん検診	
腹部超音波検診	40歳以上・男性
前立腺がん検診	
子宮がん検診	30歳以上・女性
乳がん検診	30歳以上・女性
骨粗しょう検診	30歳以上・女性
特定健診(※)	・国民健康保険被保険者で40歳以上 ・後期高齢者医療被保険者

※社会保険(健保組合、政府管掌保険、共済組合など)加入者とその扶養家族の人は各医療保険者(保険証の発行元)に申し込み、各医療保険者の案内に従ってください。

問い合わせ

健康・保険課

保健予防係

☎ 232-4912

国民年金保険料免除制度があります

経済的な理由などで国民年金の保険料を納めることが困難な場合には、申請により保険料の納付が免除されます。免除割合は、本人・配偶者・世帯主の前年所得により判定します。

免除の承認を受けた期間をそのままにしておいた場合、保険料を全額納付したときに比べ、将来受ける年金額が少なくなります。10年以内であればさかのぼって納めること(追納)ができます。免除の承認を受けた当時から2年度を過ぎて納める場合は、加算額がつきます。

平成22年度の1カ月の保険料は15,100円です

	免除割合	保険料納付額	年金額	所得の目安
全額免除	全額免除	0円	8分の4	35万円×(扶養親族数+1)+22万円
一部免除	4分の3免除	3,780円	8分の5	78万円+(扶養親族数×38万円)
	半額免除	7,550円	8分の6	118万円+(扶養親族数×38万円)
	4分の1免除	11,330円	8分の7	158万円+(扶養親族数×38万円)

■申請に必要なもの

- 年金手帳または基礎年金番号が分かる書類
- 印かん

年金出張相談所開設のお知らせ

●日時 7月21日(水) 午前10時～午後3時

●場所 大津町役場

年金のことで分からないことがあったら、ご相談ください



問い合わせ

町民課

年金係

☎ 232-4914

熊本西年金事務所

☎ 355-3261

「リサイクル推進事業」ご協力をお願い

町では、子ども会・老人会・行政区などの団体が、積極的に資源物の集団回収に取り組んでいます。

平成21年度の集団回収は、行政区単位でみると年間平均6回実施され、66団体によって779トンの資源物が回収されました。ごみ処理経費で換算すると、約2,925万円節約されています。実施団体には約842万円の奨励金を交付しました。皆様のご協力ありがとうございました。

平成22年度からは、対象品目に「牛乳パック」を追加し、古紙類は年間4回以上の回収をした場合、1kgあたり2円の奨励金を加算しています。

ごみ処理経費を削減するために、ご家庭から排出される資源物を地域の回収品目に応じて、できるかぎり集団回収に出されるよう、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

ごみは、2市2町(菊池市(旧泗水町のみ)、合志市、大津町、菊陽町)で組織する菊池環境保全組合立環境工場処理をしています。

平成21年度の総ごみ量は、32,993ト(前年度対比0.09%増)で、そのうち菊陽町は9,597ト(前年度対比1.47%増)でした。ごみの種類では、燃やすごみの総量は29,473ト(前年度対比0.18%減)で、そのうち菊陽町は8,723ト(前年度対比1.25%増)でした。

燃やすごみの総量は、平成17年度以降減少していましたが、平成21年度は前年並みに推移しました。今後も人口の増加によるごみ量の増加や、燃やすごみの処理施設(東部清掃工場)の老朽化などが懸念されるため、新たな施設の建設計画が始まりました(詳しくは、「菊池環境保全組合立環境工場等建設の取組み」(平成22年5月発行)をご覧ください)。

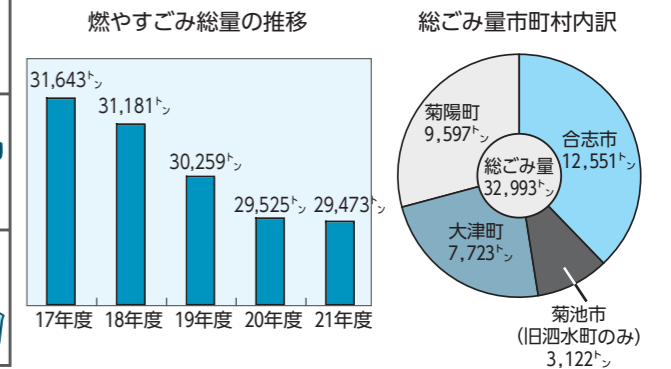
施設をより長く使用していくために、燃やすごみ量を増やさないための分別の徹底や減量化について、ご協力をよろしくお願いいたします。

ごみの分別・減量化にご協力をお願いします

平成21年度菊陽町のごみ量実績

燃やすごみ(粗大除く)	資源物AB	資源物CD
家庭ごみ 5,844ト (441g/1日1人当たり) 事業系ごみなど 2,831ト 合計 8,675ト	家庭ごみ 289ト (8.0kg/1人当たり)	家庭ごみ 100ト (2.8kg/1人当たり)
資源物EFG	資源物H	資源物I
家庭ごみ 71ト (2.0kg/1人当たり)	家庭ごみ 55ト (1.5kg/1人当たり)	家庭ごみ 4ト (0.1kg/1人当たり)
資源物J	不燃・埋立	粗大ごみ
家庭ごみ 176ト (4.9kg/1人当たり)	家庭ごみ 149ト (4.1kg/1人当たり)	家庭ごみ 78ト (2.1kg/1人当たり)

菊池環境保全組合管内の平成21年度ごみ量実績



危険! ごみ収集車で発火しました!



5月18日「燃やすごみ」の収集日と5月19日「不燃・埋立ごみ」の収集日に、収集運搬車の中でごみが燃える事故が発生しました。

5月18日の発火原因は、ライターが多量に入った袋の中にマッチが入っており、ごみを巻き込む際に発火したものと思われます。

これまで、さまざまな要因による発火事故が起きています。安全な収集のために、適正な排出処理をお願いします。

- プラスチック製ライター、マッチ(燃やすごみ) 使い切ってから、水気を含む生ごみなどの中に入れて出す。
- スプレー缶(資源物A…空かん・空びん) 中身を使い切り、ガスを完全に抜くために缶に2つ以上の穴をあける。
- 石油ストーブ、ファンヒーター(資源物B…小型金物・小型金属製家電) ※指定袋に入らない場合は「粗大ごみ」 灯油は使い切る。電池は取り除く。給油缶の受け皿に残っている灯油は、古布などでふきとる。

問い合わせ

環境生活課

ごみ減量推進係

☎ 232-2114